
森のくまさん

Joker

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

森のくまさん

【Nコード】

N9158N

【作者名】

Joker

【あらすじ】

ある日、森の中くまに出会ったお嬢さんのお話。作者の暇つぶしに書いた作品です。ホントに暇つぶしなので！！後悔しても知りませんよ！！

(前書き)

こんにちは、jokerです。この作品はちょっとした暇つぶしに書いてみました。あくまで暇つぶしですから・・・。

「お嬢さん」

「ある日、森の中熊さんに出会った。

花咲く森の道熊さんに出会った。」

花咲く森の道ではない。人食い植物がうじゃうじゃという森で私が今、通っているのは間違いなく道ではない。獣道だ。私は何故こんな目に会ったのだろうか……。

（15分前）

私は家でゲームをやっていた。

「今から大掃除をするから、外で遊んできなさい」

母親から追い出された私は舌打ちをしながらも、こんなにも可愛い私を追い出したあのクソババアもとい母親を懲らしめようと外へ毒草を探しに森へ出かけた。

「ギョエギョエ」

「うおっ、ビビったあ。マジキモイなこの植物……」

私は苛々しながら近くにあった石を拾い、その植物に投げつけた。

すると、そこにいた植物は死んだのだが……その後ろにいた狼らしきものあたり、吠えられて逃げ惑っていたら途中で転げ落ちた。「チツクシヨー、いつてーなあ！」

苛々しながら、適当な棒を拾って雑草の中を歩いていた。雑草のほとんども、人食い植物である。キモイのでとりあえず棒で追い払っていたら、棒が折れた。折れた棒は使い物にならない。だから投げ捨てた。やり投げの要領で……。すると子どもらしき小さな熊の頭に直撃した。

「熊」

昼寝をしていたら何か棒が飛んできた。ビックリした俺は慌てて飛び起きて投げた奴を探した。するといた……。ブツサイクな女が殺してやるうかと思っただけど人間の肉は食えるもんじゃない。やめておこう。コイツどうしようかな。顔面の形崩す程度に殴るうかな。……ああ、だりい……。

＝お嬢さん＝

そして、今に至るのだ。

もうホント、なんやねん！と思いつつ逃げる準備……。私、食べられるのかな……。恐いよお！いくらホラー系ゲームをし慣れているとはいえ、リアルだとマジガチレアリーで恐いんだよ！

『お嬢さんお逃げなさい』

え……？

『熊さんの言うことにや、お嬢さんお逃げなさい。』

スタコラサツサツサノサ スタコラサツサツサノサ。』

意味が分からん。なんやねん、この逃げ方は……。

『ところが熊さんが後から着いて来る。』

トコトコ トコトコと トコトコ トコトコと』

もはや意味不明っ！なに！なんで最初に逃げろって言ったの！？もしかしてアレ？ちよつとしたタイムロスで戦ってスリルを味わらせようとかっていうSが含まれるイジメ的なもの！？そうなの！？

＝熊＝

ちっ、貝殻落としやがって……。不法投棄、ゴミは持って帰って貰おう。環境はちゃんと考えないとな……。

『お嬢さん お待ちなさい ちよつと 落とし物

白い貝がらの 小さな イヤリング』

＝お嬢さん＝

貝殻！？ンナもんいらねえよ！逃げさせるー！つか、熊足速っ！！

ああ、もしかして、このとっつっつっても可愛い私に惚れたのかしら……。しょうがないわね。

『あら くまさん ありがとう お礼に うたいましよう』

「いや、結構です。あんたキモイし、息臭いし、鼻息荒いから遠慮しとくわ」

「ふざけんなっ」

私は熊の間合いに音速を超える速さで忍び寄り、ハイキックをお見舞いしてやった。熊は飛んでどっかに行った。

「???いつのまにか外に出てるし！ラッキー！」

私は鼻歌を歌いながら家へと帰って行った。ちゃんと右手には毒草を握ったまま……。

『ラララ ララララ ラララ ララララ』

(後書き)

童話を元に物語をアレンジして作ってみました。

ホントに暇つぶしです。暇つぶしです。大事なことなので、2度言いました。

まあ、読んでくださったら、最高にうれしいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9158n/>

森のくまさん

2011年10月6日08時54分発行